

YMCA News



一般財団法人鹿児島YMCA
鹿児島市真砂町34-6-209
TEL 099-296-7901
FAX 099-296-7902
発行人：新内博之
編集：大平さやか

【鹿児島YMCAの使命】

生涯を通して学び、心豊かな人づくりのために働きます
人と自然が共生できる地球環境をつくるために働きます
心身ともに健康にらせる社会をつくるために働きます
愛に満ち、痛みを分かち合える社会をつくるために働きます
そして、私たちの活動を通じて、鹿児島、日本、さらに、世界の人たちに 命と平和の尊さを伝えます。

「鹿児島YMCA運動参画のきっかけ」

鹿児島YMCA常議員・評議員 松若 鉄比古

私は、1946年鹿児島市で生まれました。1969年4月三菱鉱業（株）（現三菱マテリアル（株））に入社し、7都道府県に転勤族として勤務し、2007年定年退職を機に鹿児島に帰ってきました。その後、長女の容子が当時事務局長の新内博之総主事と結婚。そこで初めて「YMCA」の名とその活動を知った次第でした。鹿児島YMCA運動参画のきっかけは、チアダンスプログラムの中でのサマーキャンプとの出会いでした。サマーキャンプは、2010年7月に南大隅町にて初めて開始されたそうです。私は、2012年から2016年までの5回、自分は若いと思ってボランティアスタッフリーダーとして参加させてもらいました。そのうち特に印象に残っているのは、2012年の県立きりしま自然ふれあいセンターでの初めてのボランティア活動のことでした。キャンプのメニューは、テント設営から始まりました。慣れなく、要領を得ない力仕事。自分は若いと思っていましたが、動悸、息切れ、腰痛に耐えながら悪戦苦闘。次に夕食の準備。かまどのセッティングと炭おこしはなかなか難しい。知ったかぶりで振る舞いましたが四苦八苦。こんなにきついボランティアには参加しないぞと考えていました。しかし、キャンプ終了時の参加した子ども達の輝く活き活きとした喜びの表情を目にした時、“うーん！”若い人たちはこうして成長していくのだと感激し、誇りにさえ覚えました。このサマーキャンプをきっかけに、2013年8月鹿児島ワイズメンズクラブに入会。2015年にいつの間にか鹿児島YMCAの常議員と評議員の役を仰せつかっておりました。あとは、“やるっきゃない！！”今後、鹿児島YMCAが更なる発展を遂げるには、私たち会員自身が率先して様々な機会を見つけてYMCAの主旨を判っていただけるよう行動し、会員の輪を広げなければなりません。それが私たち会員の使命だと考えております。夢は大きく持ち、苦難を蹴散らして前進していきましょう。

総主事通信

2022年が終わろうとしています、皆様にとってどんな1年であったでしょうか？鹿児島YMCAの1年を振り返ると様々なことがありました。カレンダーで振り返ると、1月には年末年始で増えた新型コロナウイルス感染拡大に対応すべく、チアダンスレッスンの一部をオンライン配信し、発表会の準備にコロナ感染によって差が生まれないように教本となる映像制作していました。2月には熊本YMCAの職員研修にオンラインで参加、スタッフ育成に重きを置いた2022年を象徴する初めての取り組みでした。3月はCAST Magicのメンバーたちが出場したチアダンスの全国大会。コロナの影響で3年ぶりの幕張メッセでの大会。中学生チームが見事3位という優秀な成績を収めることが出来ました。4月は第8回チアダンス発表会。私はコロナ感染で残念ながら子どもたちの素晴らしい演技を映像で見ることにできませんでした。5月は鹿児島YMCAにとっての実質の新年度。チアダンスの各クラスでフレッシュな笑顔があふれていたことが印象的です。何より、遠くの子山梨YMCAでスタートしたチアダンススクールにオンライン講師として協力。新しい時代の到来を感じました。6月は初めてのYMCA会員大会。そして私も総主事として初めてのご挨拶をさせていただきました。その2週間後には全国YMCA同盟協議会に参加し、認証主事としての表彰、そして初めての全国総主事会議に出席させていただきました。

7月は2年ぶりの集合型研修「春季三水会」が福岡で開催され、アフガニスタンで活躍された中村哲さんの功績を学びました。月末には山梨YMCAチアダンススクールと合同キャンプ。第7波と位置付けられた新型コロナウイルス感染拡大が再び起こった中でのチアダンスサマーキャンプを大隅自然の家で開催。感染症対策を徹底し制限がある中でも、技術向上だけでなく、普段は違う場所でチアダンスをしている仲間との交流が増えましたね。月末にはCAST Magicメンバーが夏のChallenge Competitionに出場。出場全チームが入賞するという経験が出来ました。9月には、鹿児島YMCAの役員が参加した西日本地区役員研修会がありました。コロナが落ち着いた後のYMCAはどうあるべきか、そのようなことを学びました。10月は総主事就退任式を実施。たくさんの方が見守る中壇前総主事よりバトンを引き継ぎました。11月は谷山港での清掃活動、阿蘇で開催された「秋季三水会」にて熊本地震のその後について学びました。また4年ぶりに集合型で開催されたYMCA大会。ユースボランティアリーダーたちの熱い思いに触れることが出来ました。そして12月は3年ぶりにリアル開催できたチャリティーラン。110名のランナーが走ることによってボランティア参画しました。他にもおはら祭りをはじめとして数々のイベントにチアダンススクールメンバーが出演することが出来ました。

こうして振り返ると、ウィズコロナの時代に突入し、新たな時代へ移り変わっていくことを感じます。社会に目を向けると、2月に始まったロシアによるウクライナ侵攻はいまだに出口が見えず、円安や物価高騰など生活に直結する経済変化が私たちの生活に影響を与えています。困難が続きますが、こういう時こそ諦めず、ポジティブな姿勢を大切に、希望を忘れることなくありたいものです。積み重ねてきた日々がきっと2023年につながりますように。2023年が皆様にとって幸福感に満ちた1年となりますことを心よりお祈りいたします。

第13回鹿児島YMCAインターナショナル・チャリティーラン2022

12月3日（土）第13回鹿児島インターナショナル・チャリティーラン2022を無事に開催することができました。今年は初のふれあいスポーツランドを会場とし、芝生広場にて1周400mの特設コースを作り競技を開催しました。4名から10名で構成される10kmのリレーマラソン部門では18チーム110名がたすきをつないで走りました。また、1/100マラソン（421m）では4歳から小学校1年生までの4名がチャレンジし、全員が完走しました。

障がいについて理解を深める目的で、「ブラインドランナーズ」の方々に運営のご協力をお願いし、ブラインドラン体験を通じて、視覚障碍体験や伴走などの支え方などを学び、体験しました。見えないことへの恐怖や、相手への声のかけかた、寄り添い方など実際に体験してみないとわからないことが多く参加者からは、このチャリティーランで運営側が伝いたいこと、支援の意義について、様々な温かいご意見を頂戴しました。

協賛金と、参加費を合わせまして、総額147,472円の寄付金を頂きました。（12月3日現在）この集められた収益金は障がい児やサポートを必要とする子どもたちのための支援金として活用させていただきます。大会趣旨にご賛同、ご支援、ご協力頂いた皆様ありがとうございました。参加したくなった方も多いのではないのでしょうか。ぜひ次回のチャリティーランへのご参加お待ちしております。



第13回鹿児島YMCAインターナショナル・チャリティーラン2022



笑顔溢れる会場、お互いに励まし合い声をかけあって走り終えた後の達成感！皆さんの表情からわくわくする様子が伝わってきます。いつもとは違った雰囲気、様子が見られる素敵な時間となりました！！

12月3日に開催されましたチャリティーランに家族で初参加させていただきました。

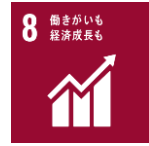
前日までは「どんな風に走るのかなぁ」、「何km走れるかな!？」とワクワクしながら待ちわびていましたが、当日の盛大なイベント会場に大興奮の子ども達とは逆に親の私たちの方が緊張でドキドキでした。

4人でたすきを繋ぐ時、普段お調子者の我が子達が表情もキリッとして頼もしく、心強く感じ、子ども達に沢山助けられた様に感じました。そして、我が子の一生懸命な姿にも改めて感動しました。何より、10kmの完走テープを家族4人で手を繋いでゴールできたことが最高の思い出になりました！！

このような素敵な経験が出来たことが家族の宝物の一つになったと思います。素敵なイベントを開催して下さいありがとうございました！！

《家族参加》絶対おすすめです！皆様もぜひ！！

イオン校 甲斐ファミリー



チアダンススクール

◆ クラス紹介・伊集院幼稚園 ◆

ドリームリーダー（荒田夢子）

毎週水曜日、伊集院幼稚園の生徒を対象に開講しております。現在6名が在籍しています。

園内のホールにて活動しているので、そのままお預かりの生徒も安心して受講できます。慣れた場所なので緊張せずお友達と楽しく参加できています。

伊集院幼稚園：水曜日

場所 伊集院幼稚園（ザビエルホール）

対象 幼稚園在籍者

時間 14:15～15:15

見学・体験随時お待ちしております！！



◆ CAST Magic紹介 ◆

まるリーダー（新内容子）

2019年に活動開始10年の節目として、競技大会に特化した活動を行うことを目的とした新ユニットCAST Magicを立ち上げました。CASTとはCheer And Spirit Teamの頭文字を組み合わせしており、応援する精神、思いやりや責任感、奉仕の精神を体現できるチームとなることを目標とし、ゴールに向かって努力する事を学んでいます。5月の次年度に向け、活動に参加したい方を募集する予定です。今後の情報をぜひチェックしてください！

【 CAST Magic Elements 】

小学1年生～小学6年生まで14名が在籍しています。Magicエレメンツは、テクニックはもとより、チアスピリッツをしっかりと学び、大会へチャレンジするための心構え等を含めて準備をするクラスです。

2022年9月に大会を経験し、2023年1月にもチャレンジします。徐々に意識が変わり、心身共に成長中のメンバーです！応援よろしくお願いします！



◆ イベント出演 ◆

かごしま国体・大会カウントダウンイベント「KOKUTAI meets YOU フェスタ」



国体開催300日前を機にイベントが開催され、CAST Magic Faith&Novaが国体を応援する鹿児島県民の一員として、そしてチアリーダーとして盛り上げようと参加させて頂きました！会場にはライフル射撃や電動車椅子サッカーなど国体競技を実際に体験できるブースで、競技を初体験。とても難しく、貴重な体験でした。来年の国体が益々楽しみです！



明治がおくるクリスマスこども大会



会場全体がクリスマスムード全開で大盛り上がりでした！！会場にいる皆さんと一緒にメリークリスマス★！！



鴨池校区餅つき大会



スタジオで練習して出発！当日は、真砂公園から鴨池小学校に会場が変更となり体育館での演技披露となりました。雪がちらつくいちにちだったので、室内でおもいきりパフォーマンスができたのではないのでしょうか！



NAVY STARSはクリスマス限定の演目で会場を盛り上げました！

ポン文字もきまって、にっこりですね。



NAVY STARS

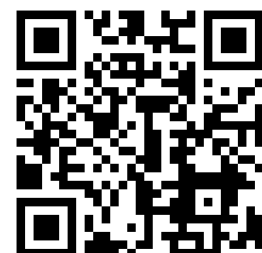
鹿児島ユナイテッドF Cでは、2023シーズンに向けて、オフィシャルチアリーダー

「NAVY STARS（ネイビースターズ）」の新メンバーを募集しています。今回はNAVY STARSの新メンバーとあわせて、バックダンサーの募集も行います。



鹿児島ユナイテッドF Cオフィシャルチアリーダー

「NAVY STARS」メンバー募集サイト





今月の聖句（ルカによる福音書）

「主よ、今こそあなたは、お言葉どおりこの僕を安らかに去らせてくださいます。
わたしはこの目であなたの救いを見たからです」 ルカによる福音書2章29節

「あなたの救いを見た」

敬愛幼稚園園長・鹿児島加治屋町教会牧師

松本敏之

生まれたばかりの幼子イエスを訪ねた老シメオンは、そう歌いました。これはしばしばクリスマスの後、年末に読まれる聖句です。不思議な言葉です。彼は実際には、幼子イエス・キリストを見ただけです。その幼子がやがて成長し、救いの御業をなすようになるわけですが、それはまだまだ先のことです。それにもかかわらず、彼は「救いを見た」というのです。これはシメオンの信仰の幻と言ってもいいでしょう。彼にとって「救い主を見る」ということは、「救いを見る」ということと同じことでありました。この幼子を見ながら、そこに神様がかわっておられるならば、将来に何が起こるかということを、いわば透視することができたのです。

彼の目の前にあるイスラエルの現実、恐らくまだ同じような厳しい状態が続いていたに違いありません。

「しかし神様はこの世界をお見捨てになっていない。その証拠として救い主をお遣わしになった。」

私たちもそのような信仰の幻をもって、新しい年に進んでいきましょう。

写真：鹿児島加治屋町教会礼拝堂



インフォメーション

- ・1月7・8日@熊本
USA Regionals 2023 九州大会
(出場：CAST Magic全チーム・霧島校)
- ・1月9日（月・祝）
- ・2月22日（水）ピンクシャツデー
- ・3月5日（日）
鹿児島マラソン「チェスト！応援隊」
- ・3月12日（日）
ぼれぼれ祭りイベント出演
- ・4月16日@宝山ホール

第9回鹿児島YMCAチアダンススクール発表会

2022年度基本聖句

【ローマの信徒への手紙 8:28】

神を愛する者たち、つまり、御計画に従って召された者たちには、万事が益となるように共に働くというのを、私たちは知っています。



ホームページ



Instagram



Facebook